

# 農産物の残留農薬検査結果（令和5年11月～令和6年2月）

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、令和5年11月～令和6年2月に医療局食品専門監視班及び各区福祉保健センターが収去した市内産農産物の検査結果を報告します。

市内産農産物については、11月にキャベツ5検体、かぶの根、こまつな、さつまいも、だいこんの根、なす、はくさい及びピーマン各1検体の計12検体、1月にさといも2検体、キャベツ、こまつな、さつまいも、だいこんの根、にんじん、はくさい、ブロッコリー及びほうれんそう各1検体の計10検体、2月ににんじん3検体、キャベツ、さといも、ばれいしょ及びブロッコリー各2検体、かぶの根、さつまいも、だいこんの根及びはくさい各1検体の計15検体、合計で37検体の検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。かぶの根、キャベツ、こまつな、だいこんの根、なす、にんじん及びはくさい各1検体から延べ7項目の農薬が検出されましたが、基準値を超えたものはありませんでした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

表1 市内産農産物の残留農薬検査結果

（令和5年11月～令和6年2月）

農産物	検査検体数	農薬検出検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
かぶの根	2	1	ジノテフラン	0.02	0.5
キャベツ	8	1	ジノテフラン	0.01	2
こまつな	2	1	テフルトリン	0.01	0.5
さつまいも	3	0			
さといも	4	0			
だいこんの根	3	1	ジノテフラン	0.03	0.5
なす	1	1	アゾキシストロビン	0.10	3
にんじん	4	1	ジノテフラン	0.01	1
はくさい	3	1	ジノテフラン	0.11	6
ばれいしょ	2	0			
ピーマン	1	0			
ブロッコリー	3	0			
ほうれんそう	1	0			

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出限界 (ppm)	農産物				農薬名	検出限界 (ppm)	農産物			
		A	B	C	D			A	B	C	D
BHC ( $\alpha, \beta, \gamma$ 及び $\delta$ の和)	0.005	○	—	○	—	エトフェンプロックス	0.01	○	○	○	○
DDT (DDE,DDD,DDTの和*)	0.005	○	○	○	○	エボキシコナゾール	0.01	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	エンドスルファン ( $\alpha$ 及び $\beta$ の和)	0.005	○	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	エンドリン	0.005	○	—	—	—
アセタミプリド	0.01	○	○	○	—	オキサミル	0.01	○	○	○	○
アセフェート	0.01	○	○	○	○	カルバリル	0.01	○	○	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	カルプロパミド	0.01	○	○	○	○
アラクロール	0.01	○	○	○	—	クミルロン	0.01	○	○	○	○
アルドリン及びディルドリン	0.005	○	—	○	—	クレソキシムメチル	0.01	○	○	○	○
イソキサチオン	0.01	—	○	○	○	クロチアニジン	0.01	○	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	クロマフェノジド	0.01	○	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	クロルピリホス	0.01	○	○	○	○
エトキサゾール	0.01	○	○	○	○	クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○

表 2(続き) 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出限界 (ppm)	農産物				農薬名	検出限界 (ppm)	農産物			
		A	B	C	D			A	B	C	D
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	フェニトロチオン	0.01	○	○	○	○
クロルプロファミ	0.01	○	○	○	○	フェノプロカルブ	0.01	○	○	○	○
クロロクシロン	0.01	○	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	フェントエート	0.01	○	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	○	フェンバレレート	0.01	○	○	○	○
ジエトフェンカルブ	0.01	○	○	○	○	フェンピロキシメート	0.01	○	○	○	○
ジコホール	0.01	○	○	○	○	フェンブコナゾール	0.01	○	○	○	○
ジノテフラン	0.01	○	○	○	○	フェンプロバトリン	0.01	○	○	○	○
シハロトリン	0.01	○	○	○	○	フサライド	0.01	○	○	○	○
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○
シフルトリン	0.01	○	○	○	○	ブプロフェジン	0.01	○	○	○	○
シフルフェナミド	0.01	○	○	○	○	フルジオキソニル	0.01	○	○	○	○
シプロコナゾール	0.01	○	○	○	○	フルシトリネート	0.01	○	○	○	○
シペルメトリン	0.01	○	○	○	○	フルトラニル	0.01	○	○	○	○
ジメトエート	0.01	○	○	○	○	フルバリネート	0.01	○	○	○	○
ジメトモルフ	0.01	○	○	○	○	フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○
シラフルオフェン	0.01	○	○	○	○	フルリドン	0.01	○	○	○	○
ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	○	○	プロチオホス	0.01	○	○	○	○
チアクロブリド	0.01	○	○	○	○	プロバホス	0.01	○	○	○	○
チアメキサム	0.01	○	○	○	○	プロピコナゾール	0.01	○	○	○	○
テトラコナゾール	0.01	○	○	○	○	プロピザミド	0.01	○	○	○	○
テブコナゾール	0.01	○	○	○	○	プロモプロピレート	0.01	○	○	○	○
テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	ヘキサコナゾール	0.01	○	○	○	○
テブフェンピラド	0.01	○	○	○	○	ヘブタクロル(エポキシドを含む)	0.005	○	—	○	—
テフルトリン	0.01	○	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○
トリアゾホス	0.01	○	○	○	○	ペンコナゾール	0.01	○	○	○	○
トリチコナゾール	0.01	○	○	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○	○
トリフルラリン	0.01	○	—	○	—	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○
トリフロキシストロピン	0.01	○	○	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	—
トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	ボスカリド	0.01	○	○	○	○
トルフェンピラド	0.01	○	○	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	○
ノバルロン	0.01	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○
パラチオン	0.01	○	○	○	○	マイクロブタニル	0.01	○	○	○	○
パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	メタミドホス	0.01	—	○	○	—
ビフェントリン	0.01	○	○	○	○	メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	○	○	○	○
ピリダベン	0.01	○	○	○	○	メチダチオン	0.01	○	○	○	○
ピリプロキシフェン	0.01	○	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○
ピリミカーブ	0.01	○	○	○	○	メトラクロール	0.01	○	○	○	○
ピリミノバックメチル	0.01	○	○	○	○	リニューロン	0.01	○	○	○	○
ピリミホスメチル	0.01	○	○	○	○	リンデン( $\gamma$ -BHC)	0.005	○	○	○	—
ファモキサドン	0.01	○	○	○	○	ルフェヌロン	0.01	○	○	○	○
フィプロニル	0.002	○	○	○	○	レナシル	0.01	○	○	○	○
フェナリモル	0.01	○	○	○	○						

農産物の種類 A:こまつな、にんじん、ピーマン、ブロッコリー、ほうれんそう B:かぶの根、キャベツ、なす、はくさい  
C: さつまいも、さといも、ばれいしょ D:だいこんの根

○:実施、—:実施せず

\*DDTは $p,p'$ -DDE、 $p,p'$ -DDD、 $o,p'$ -DDT及び $p,p'$ -DDTの和

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】